

大阪府工業指数2023年6月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…90.7 前月比▲3.2% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、輸送機械工業など7業種が低下し、生産用機械工業、食料品工業など7業種が上昇した。

品目別にみると、医薬品、鉄道車両部品等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲7.8%と2か月ぶりの低下となった。

(2) 出荷指数…87.1 前月比▲0.3% 3か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、金属製品工業、化学工業など7業種が低下し、生産用機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業など7業種が上昇した。

品目別にみると、医薬品、鉄道車両部品等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲5.2%と2か月ぶりの低下となった。

(3) 在庫指数…103.3 前月比▲1.1% 6か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、電気・情報通信機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業など6業種が低下し、金属製品工業、石油・石炭製品工業など7業種が上昇した。

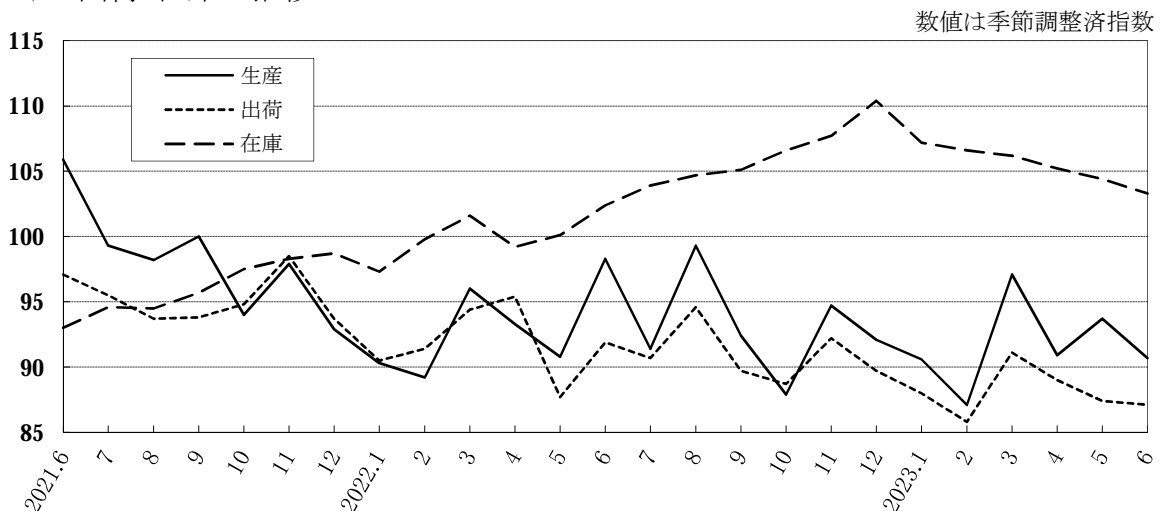
品目別にみると、乾電池、ショベル系掘削機械等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、0.9%と22か月連続の上昇となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2023年5月	93.7	3.1	87.6	3.2
	2023年6月	90.7	▲3.2	90.3	▲7.8
出 荷	2023年5月	87.4	▲1.8	82.4	1.4
	2023年6月	87.1	▲0.3	88.5	▲5.2
在 庫	2023年5月	104.4	▲0.8	106.5	4.3
	2023年6月	103.3	▲1.1	105.9	0.9

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産

前月比

▲ 3.2%

上昇 7業種
低下 7業種
横ばい 0業種

計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比(%)	主な品目
上昇	生産用機械工業	0.461	4.0	シヨベル系掘削機械、プラスチック用金型
	食料品工業	0.440	4.9	チョコレート、ウイスキー
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.210	3.2	銅荒引線、鉄系鍛工品
	電子部品・デバイス工業	0.188	15.2	アクティブ型液晶パネル
	汎用・業務用機械工業	0.170	2.3	汎用内燃機関、試験機
	プラスチック製品工業	0.108	2.7	プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製フィルム・シート
	窯業・土石製品工業	0.033	1.5	無アルカリガラス基板、炭素製品(除.電極・炭素繊維)
	その他の上昇した品目			
低下	化学工業	▲3.936	▲16.8	医薬品、合成アセトン
	輸送機械工業	▲1.256	▲16.0	鉄道車両部品、シャシー・車体部品
	金属製品工業	▲0.667	▲7.8	産業用アルミニウム製品、橋りょう
	石油・石炭製品工業	▲0.316	▲29.1	ガソリン、ナフサ
	その他工業	▲0.292	▲5.1	平版印刷(オフセット印刷)、工業用ゴム製品
	電気・情報通信機械工業	▲0.090	▲0.9	アーク溶接機、非標準変圧器
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.003	▲0.2	衛生用紙
	その他の低下した品目			

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	シヨベル系掘削機械	生産用機械工業
	2	チョコレート	食料品工業
	3	プラスチック用金型	生産用機械工業
	4	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	5	汎用内燃機関	汎用・業務用機械工業
	6	鉄道車両	輸送機械工業
	7	アクティブ型液晶パネル	電子部品・デバイス工業
	8	飲料用アルミニウム缶	金属製品工業
	9	フラットパネル・ディスプレイ製造装置	生産用機械工業
	10	試験機	汎用・業務用機械工業
低下	1	医薬品	化学工業
	2	鉄道車両部品	輸送機械工業
	3	超硬工具	生産用機械工業
	4	産業用アルミニウム製品	金属製品工業
	5	合成アセトン	化学工業
	6	シャシー・車体部品	輸送機械工業
	7	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	8	アーク溶接機	電気・情報通信機械工業
	9	非標準変圧器	電気・情報通信機械工業
	10	橋りょう	金属製品工業

(2) 出荷

前月比

▲ 0.3%

上昇 7 業種
 低下 7 業種
 横ばい 0 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	生産用機械工業	1.594	16.5	シヨベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.645	5.5	普通鋼H形鋼、鋼半製品
	汎用・業務用機械工業	0.333	4.6	汎用内燃機関、試験機
	電気・情報通信機械工業	0.146	2.0	セパレート形エアコン(室外)、 電気計器
	プラスチック製品工業	0.103	2.4	プラスチック製容器(中空成形)、 プラスチック製フィルム・シート
	窯業・土石製品工業	0.075	4.6	無アルカリガラス基板、 光学用ガラス素地
	電子部品・デバイス工業	0.005	0.9	固定コンデンサ
	その他の上昇した品目			電動アシスト自転車【輸送機械工業】、 鉄道車両【輸送機械工業】
低下	金属製品工業	▲1.084	▲11.3	産業用アルミニウム製品、 飲料用アルミニウム缶
	化学工業	▲1.004	▲6.9	医薬品、フェノール
	その他工業	▲0.379	▲6.6	平版印刷(オフセット印刷)、 マーキングペン
	石油・石炭製品工業	▲0.290	▲3.4	ナフサ、精製・混合原料油
	輸送機械工業	▲0.211	▲2.6	鉄道車両部品、シャシー・車体部品
	食料品工業	▲0.129	▲1.4	ビール・発泡酒、冷凍調理食品
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.014	▲0.9	段ボール原紙
	その他の低下した品目			超硬工具【生産用機械工業】、 非標準変圧器【電気・情報通信機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3) 在庫

前月比

▲ 1.1%

上昇 7 業種
 低下 6 業種
 横ばい 0 業種

計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	金属製品工業	0.379	3.7	スチール製缶、飲料用アルミニウム缶
	石油・石炭製品工業	0.286	11.3	灯油、重油
	輸送機械工業	0.208	14.1	—
	食料品工業	0.102	2.9	チョコレート
	窯業・土石製品工業	0.074	6.6	安全ガラス、光学用ガラス素地
	化学工業	0.056	0.3	アンモニア、合成洗剤
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.022	1.4	段ボール原紙
その他の上昇した品目			装輪式トラクタ【生産用機械工業】、 プラスチック製フィルム・シート【プラスチック製品工業】	
低下	電気・情報通信機械工業	▲1.042	▲5.7	乾電池、セパレート形エアコン(室外)
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.276	▲1.3	鋼半製品、普通鋼鋼矢板
	生産用機械工業	▲0.213	▲7.7	シヨベル系掘削機械
	汎用・業務用機械工業	▲0.166	▲1.4	ポンプ、チリングユニット
	その他工業	▲0.048	▲0.8	繊維板・パーティクルボード、 乗用車用タイヤ
	プラスチック製品工業	▲0.012	▲0.4	プラスチック製建材、 プラスチック製日用品・雑貨
その他の低下した品目			柔軟仕上げ剤【化学工業】、 産業用アルミニウム製品【金属製品工業】	

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

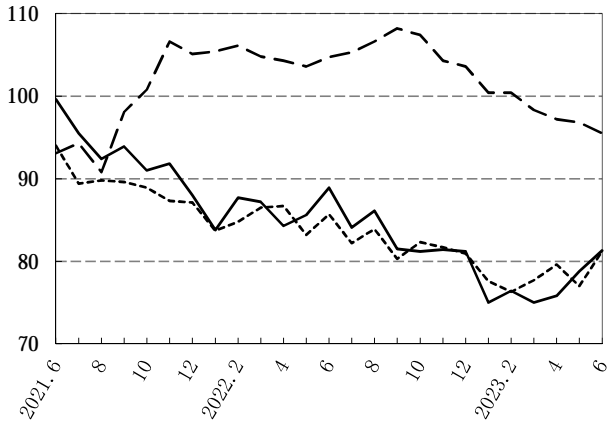
3 業種分類別の推移

数値は季節調整済指数
2015年=100
 生産 ————
 出荷
 在庫 - - - - -

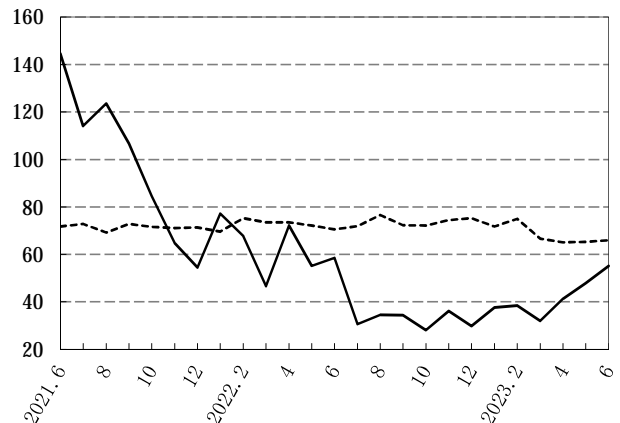
汎用・業務用機械工業



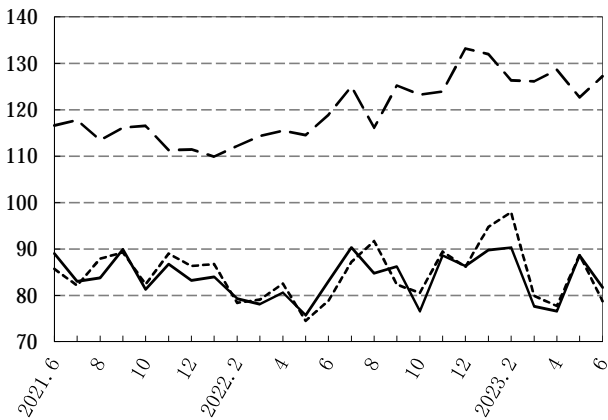
鉄鋼・非鉄金属工業



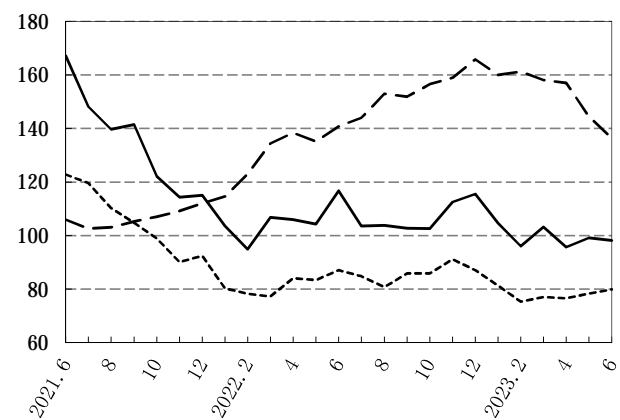
電子部品・デバイス工業



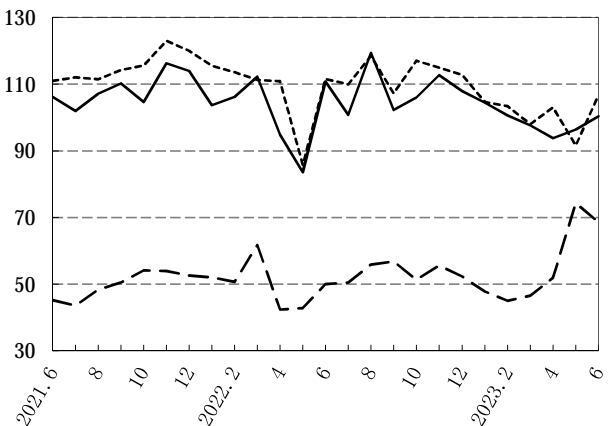
金属製品工業



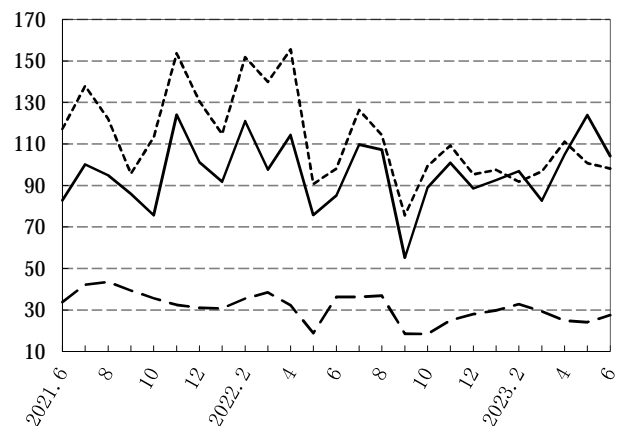
電気・情報通信機械工業

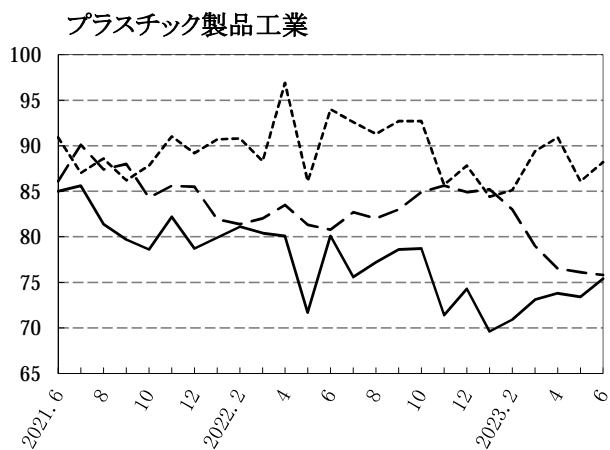
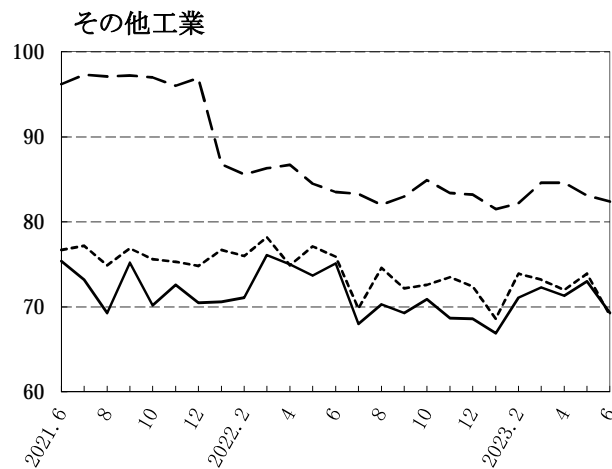
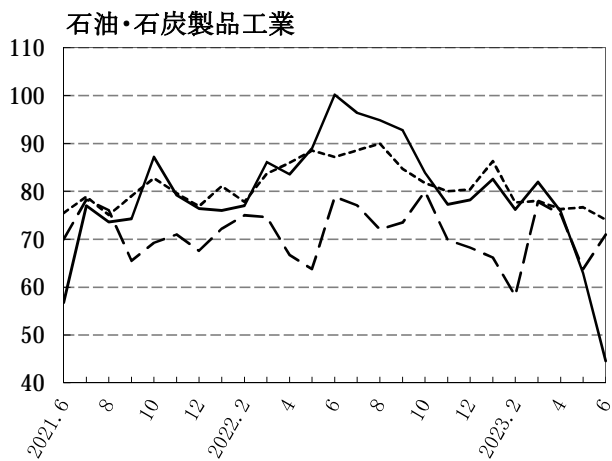
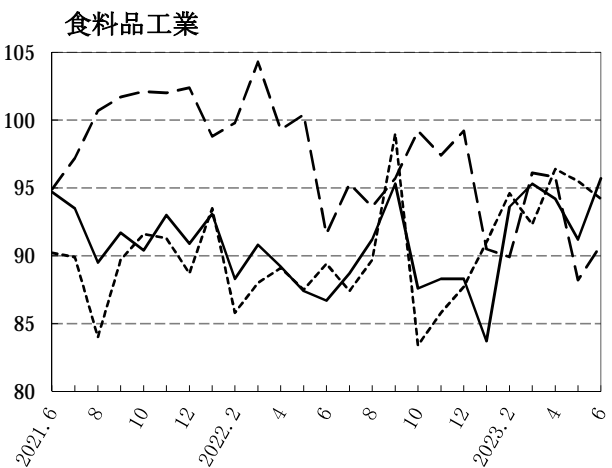
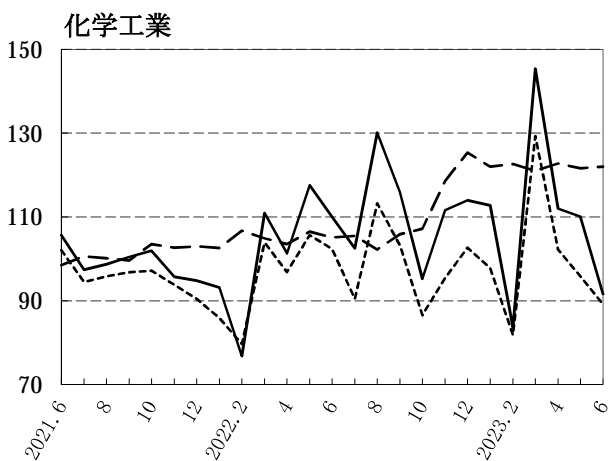
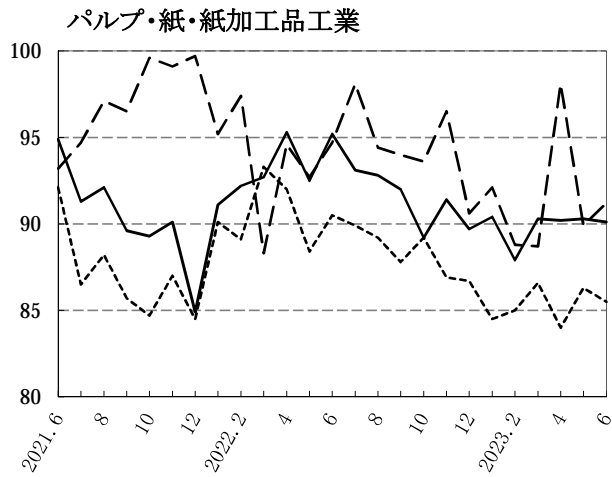
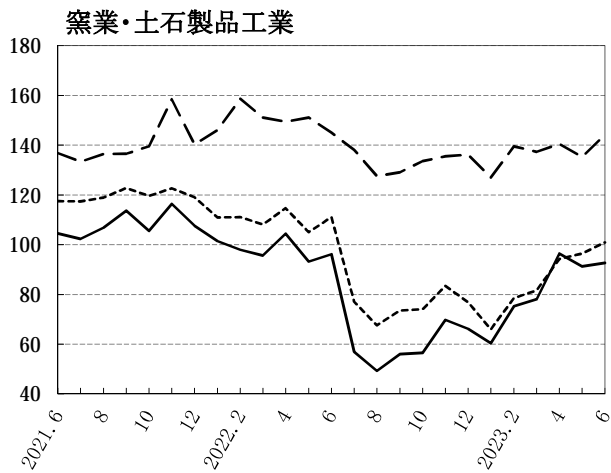


生産用機械工業



輸送機械工業

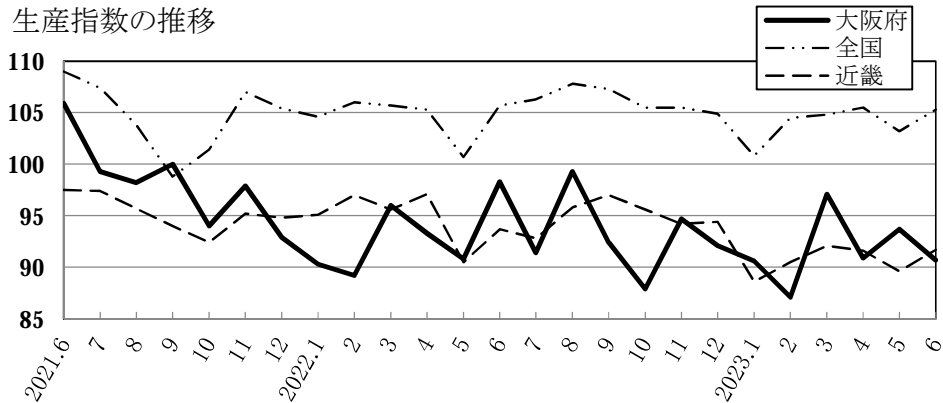




4 全国・近畿の状況(速報)

	大阪府 (2015年=100)		全国 (2020年=100)		近畿 (2015年=100)	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	90.7	▲ 3.2	105.3	2.0	91.7	2.3
出荷	87.1	▲ 0.3	104.8	1.5	90.9	1.2
在庫	103.3	▲ 1.1	105.5	▲ 0.1	103.8	▲ 0.4

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、**2015年(平成27年)**です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成**31年**1月速報(**2019年3月29日**公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間ではほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2021年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2022年7月速報(2022年9月30日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、**2022年1月**以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)